

【2023年度 教育連携委員会 事業報告】

委員長校 : 神戸大学

副委員長校 : 大手前大学

委員校 : 大手前短期大学、関西国際大学、関西福祉大学、関西学院大学、聖和短期大学、甲南大学
神戸医療未来大学、神戸海星女子学院大学、神戸学院大学、神戸芸術工科大学、神戸市看護大学
神戸松蔭女子学院大学、神戸親和大学、神戸常盤大学、神戸常盤大学短期大学部、園田学園女子大学
園田学園女子大学短期大学部、姫路獨協大学、兵庫大学、兵庫大学短期大学部、兵庫県立大学 計23校

<目的>

加盟校の教育・研究の質を高める「多元的学び」を提供する取り組みとして、加盟校の教育事業についての相互連携、教育資源及びテクノロジー活用に関する相乗効果を図る。

「大学間連携による多様な教育ニーズ」に対応する教育活動を通じて、多様な学生の交流を促進し、学修動機と学修経験の強化、教育効果の向上を目指す。

さらに、学生の所属校の垣根を越えた学びに対して単位認定の道を開くことで、学生が幅広く深い教養及び総合的な判断力を培い、豊かな人間性の涵養を図るとともに、コンソーシアム事業への参画の動機づけや、地域貢献活動の実現も期待する。

<内容>

1. 単位互換事業の実施

加盟校において幅広い科目の履修や学びの機会を提供するため、兵庫県の地域特性や加盟校の特徴を生かした授業及び集中講義を中心とした単位互換事業を実施する。その際に「多様なメディアを高度に利用した」科目等も取り入れる。

2. 多様な学修機会の提供

加盟校に通う学生等に多様な学修機会を提供するため、加盟校が実施する講座等を開放し、学びの機会を継続的に提供する。

<期待される効果>

1. 単位互換事業の実施

(1)「多様なメディアを高度に利用した」授業科目を本格的に取り入れることで、大学間の地理的・時間的課題を解消し、より多くの学生に大学の枠を超えた学びの場の提供をすることによる教育効果の向上。

(2)コンソーシアム事業(国際交流、地域連携、社会連携等)に対する学生への意識づけの促進。

2. 多様な学修機会の提供

(1)加盟校の教育資源を活用する「多元的学びの機会」を継続的に提供することによる、加盟校の教育事業についての相互連携、教育・研究の質の向上。

(2)異なる分野の学生等の交流促進による広い視野を持った人材の育成。

課題⑦ 大学間連携による多様な教育ニーズへの対応		予算額
取組1	単位互換事業	520,000円
取組2	多様な学修機会の提供事業	80,000円

【2023年度 教育連携委員会 事業報告(⑦取組1)】

【⑦取組1】達成目標	各年開放科目数10科目以上
【⑦取組1】活動指標	送り出し校数・5校/年

課題⑦	大学間連携による多様な教育ニーズへの対応
達成目標【⑦取組1】	各年開放科目数10科目以上
課題を解決する取組概要【⑦取組1】	単位互換事業の実施
活動指標【⑦取組1】	送り出し校数・5校/年

内容 (結果)	<p>1. 2023年度単位互換事業 加盟校学生に、幅広い科目の履修や学びの機会を提供するため、兵庫県の地域特性や各大学の特徴を活かした内容の授業及び集中講義を中心とした単位互換事業を実施した。</p> <p>(直近3か年の推移は以下のとおり) 2023年度 17校、開放科目数82科目、履修者16名(6大学)※ 2022年度 15校、開放科目数85科目、履修者42名(8大学) 2021年度 11校、開放科目数43科目、履修者29名(8大学) ※履修者16名の内訳: 対面10人、オンデマンド3名、オンライン2名、ブレンド1名</p> <p>上記の通り、2023年度は当初計画の達成目標(開放科目数10科目以上)ならびに、活動指標(送り出し校数5校以上)を達成することができた。</p> <p>2. 2024年度に向けた取組み ①単位互換包括協定書締結大学の拡大 ・協定未締結校に対して依頼文書を発出した(11月中旬締切) ・2023年度 協定書締結大学: 34校(27大学、1専門職大学、6短期大学・部)</p> <p>②単位互換事業の広報活動について 学生への周知拡大を図るため、神戸芸術工科大学の協力のもと、ポスターとチラシを作成。</p> <p>③開放科目の選定 12月に協定書締結校へ照会した。</p>
------------	--

新しい試み等 (事業計画に記載)	
---------------------	--

事業収支	収入	支出	収支	備考
	520,000円	456,960円	63,040円	

自己評価	【対到達目標】	3	【対継続性】	4
	<p><達成目標> 開放科目数10科目以上 <活動指標> 送り出し校数5校/年 <2023年度実績> 開放科目数82科目、送り出し校数6校。 評価としては当初計画を達成しており、プログラムを継続すべきと思われる。 なお、コロナウイルス感染症の影響も落ち着き、今年度から従来の対面授業中心の授業形態に戻ってきた影響で、逆に時間的制約から単位互換事業に参加できなくなった学生が多かったために履修者が減少したのではないかと推測される。今後も引き続いて、教育のICT化によりできるだけ距離的・時間的制約を減らす工夫をしながら単位互換事業を行い学生へ多様な学びの機会の提供に繋げていきたい。</p>			

■自己評価基準
(対到達目標)

- 4: 当初計画を上回って達成
- 3: 当初計画を達成
- 2: 当初計画をやや下回った
- 1: 当初計画を下回った

■自己評価基準
(対継続性)

- 4: 本プログラムは継続すべき
- 3: 本プログラムは継続しても良い
- 2: 本プログラムの継続には改善が必要
- 1: 本プログラムは中止すべき

理事会からの改善提案 (次年度事業計画に反映)	<p>コロナウイルス感染症の影響も落ち着き、学生の生活様式や従来の対面授業中心の授業形態に戻ってきた影響もある中、時代の趨勢とともに、コンソーシアムの単位互換事業に対しても、新たな期待が寄せられると思われる。教育のICT化や学生へ多様な学びの機会の提供について引き続き、検討いただきたい。</p>
----------------------------	--

【2023年度 教育連携委員会 事業報告(⑦取組2)】

【⑦取組2】達成目標	各年プログラム数5件以上
【⑦取組2】活動指標	参加者数50人以上/年

課題⑦	大学間連携による多様な教育ニーズへの対応			
達成目標【⑦取組2】	各年プログラム数5件以上			
課題を解決する取組概要【⑦取組2】	多様な学修機会の提供			
活動指標【⑦取組2】	参加者数50人以上/年			
内容 (結果)	<p>加盟校に通う学生等に、多様な学修機会を提供するため、本計画期間内において、加盟校が実施する講座等を開放し、学びの機会を継続的に提供するするとともに、「大学eラーニング協議会共通基盤教育システム」を広く加盟校に運用していただきながら、ICTを活用したコンテンツ制作の支援活動を行う。</p> <p>1. 公開講座等の大学コンソーシアムひょうご神戸加盟校への開放 8校27件の公開講座等を大学コンソーシアムひょうご神戸加盟校の教職員ならびに学生へ広く開放し、多様な学修機会を提供した。開放校より報告のあった参加者数は計1377名であった。(情報提供があった8校27講座の集計結果による)。 上記の通り、2023年度は当初計画の達成目標(年プログラム数5件以上)ならびに、活動指標(参加者数50人以上)を達成することができた。</p> <p>2. ICTを活用したコンテンツの検討 「大学eラーニング協議会共通基盤教育システム」を教育連携委員会委員校以外の加盟校にも広く周知するとともに、昨年度に引き続き「教育コンテンツ提案」WGを開催した。WGでは、ICTを活用した授業コンテンツ等について、大学間の情報交換やコンテンツ制作支援につながる活動を引き続き行う。 ・2023年度 第1回「教育コンテンツ提案」WG企画 近年の生成系AIをめぐる大学教育の動向について 日時:2023年7月19日(水)10:00~11:30 場所:Zoom会議(オンライン) 参加者数:総計13名 (内訳)加盟校5校10名:大手前大学(3)・関西国際大学(2)・神戸大学(1)・園田学園女子大学(1) 兵庫県立大学(3)、コンソ事務局(3)</p>			
新しい試み等 (事業計画に記載)				
事業収支	収入	支出	収支	備考
	80,000円	30,000円	50,000円	

自己評価	【対到達目標】	3	【対継続性】	3
	<p><達成目標>各年プログラム数5件以上 <活動指標>参加者数50人以上/年 <2023年度実績> 実施プログラム数17件、参加者数934名(情報提供があった5校9講座の集計結果)。評価としては当初計画を達成しており、プログラムを継続してもよいと思われる。</p> <p>①公開講座等の大学コンソーシアムひょうご神戸加盟校への開放 多様な学修機会を提供するために加盟校に通う学生等に開放できる公開講座等を開放したことで、授業とは異なる新たな気づきを学生に芽生えさせることができた。</p> <p>②ICTを活用したコンテンツの検討 多くの大学で導入されつつあるオンライン授業のコンテンツ制作を念頭に、生成AIなどの新技術の教育への影響について検討した。具体的には、この課題に関する加盟校の実務者からの情報提供をもとに、生成AIへの対応に関する各大学の状況と想定される課題について意見交換を行った。</p>			

- | | |
|---|--|
| <p>■自己評価基準
(対到達目標)</p> <p>4:当初計画を上回って達成
3:当初計画を達成
2:当初計画をやや下回った
1:当初計画を下回った</p> | <p>■自己評価基準
(対継続性)</p> <p>4:本プログラムは継続すべき
3:本プログラムは継続しても良い
2:本プログラムの継続には改善が必要
1:本プログラムは中止すべき</p> |
|---|--|

理事会からの改善提案 (次年度事業計画に反映)	継続的な加盟校の教育資源の共有と相互連携の取組として、加盟校の公開講座を広く開放し、多様な学生の交流を促進し、学修経験の強化を引き続き図って頂きたい。 また、eラーニングシステムについても、引き続き、加盟校全体に周知を行い、加盟校全体のICTを活用した教育資源の向上の相乗効果を行って頂きたい。
----------------------------	--

2023年度 教育連携委員会 事業決算

(単位:円)

	予算額	決算額	各プログラム 予算・決算						委員会 予算・決算			
			取組1			取組2						
			単位互換事業			多様な学修機会の提供事業			内訳	予算額	決算額	
			内訳	予算額	決算額	内訳	予算額	決算額				
収入	会費収入	700,000	516,328		520,000	456,960		80,000	30,000		100,000	29,368
	助成事業収入	0	0									
	受託事業収入	0	0									
	プログラム収入	0	0									
	雑収入	0	0									
	戻入金	0	0									
	計	700,000	516,328		520,000	456,960		80,000	30,000		100,000	29,368
支出	会議費	10,000	2,880							検討委員会開催費	10,000	2,880
	旅費交通費	10,000	4,230							旅費交通費	10,000	4,230
	通信運搬費	33,000	19,618							郵送料	33,000	19,618
	消耗品費	0	0									
	新聞図書費	0	0									
	印刷製本費	140,000	69,320	ポスター・チラシ制作費	140,000	69,320						
	光熱水料費	0	0									
	賃借料	0	0									
	保険料	0	0									
	謝金	130,000	88,000	ポスター・チラシデザイン謝金	80,000	88,000	講師等謝金	50,000				
	租税公課	0	0									
	支払手数料	4,000	2,640							振込手数料	4,000	2,640
	諸会費	30,000	30,000				eラーニング協議会会費	30,000	30,000			
	委託費	333,000	299,640	単位互換HP更新費	300,000	299,640				各プログラムHPIに係る予備費	33,000	
	人件費	0	0									
	接待交際費	0	0									
	支払支援金	0	0									
雑費	10,000	0							委員長校・副委員長校連絡調整等	10,000		
計	700,000	516,328		520,000	456,960		80,000	30,000		100,000	29,368	

収入－支出	183,672
-------	---------